

鳥取大学農学部 准教授 割田 克彦

インドネシアのジョグジャカルタにある国立大学ガジャマダ大学にて「獣医学研究における連携強化のためのシンポジウム」が2月28日に開催された。鳥取大学からは教員1名および大学院生2名が参加した。本シンポジウムでは、ガジャマダ大学獣医学部長 Siti Isrina Oktavia Salasia 教授、山口大学副学長 三浦房紀 教授によるオープニングスピーチに始まり、山口大学、鹿児島大学、鳥取大学の順に各大学の教育・研究の特色についてのプレゼンテーションが行われた。その後、インドネシアの獣医系11大学の各紹介が行われ、最後に全体討論として日本の獣医学教育システムや奨学金制度、大学院教育連携に関する質疑応答が行われた。午後には研究発表会として、オーラルセッションとポスターセッションに分かれ、活発な討論が行われた。夕方には、ガジャマダ大学獣医学部における付属動物病院を紹介するプレゼンテーションが行われ、その後、動物病院施設内の見学ツアーが催された。診療施設では、特別料金が必要な時間外診療が行われており、また、インドネシアならではのエキゾチックアニマルの臨床が活発である様子が伺えた。最終日には、ユネスコの世界遺産に登録されているボロブドゥール遺跡の見学など、ガジャマダ大学のスタッフによる厚い歓待を受け、今後のインドネシアと日本の研究交流および連携強化のための絆を深めることができた。

